

1. 集計結果

○回答数

- ・保護者による評価 22人（22人中）
- ・職員による自己評価 11人（11人中）

○実施期間

- ・2019年12月20日～2020年1月15日

○評価の数値状況

- *別紙を参照

2. 分析・討議

○保護者による評価

- ・「活動の場所の面積が適切であるか」は、「はい」が19人ある。ただし、「わからない」が3人ある。施設は、基準面積を満たしており、指導訓練室は80㎡あり、決して狭いわけではないことがよく伝わっていないと考えられる。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」は、「はい」が21人ある。「たくさんの指導員に守られている。手厚く見てもらえ、安心している」という意見があるように評価されている。
- ・「子どもにとって危険がともなうようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が20人ある。ただし、「わからない」が2人ある。施設内の状況をよく点検したことがないからだと考えられる。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が21人ある。虐待などの心配がないと評価されている。
- ・「火災や地震、感染症などの対策がなされているか」は、「はい」が17人ある。ただし、「わからない」が5人ある。消防設備や火災報知器が設置され、防火・防災訓練や、感染症対策の研修会を行なっていることが伝わっていない人もいると考えられる。
- ・「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」は、「はい」が19人ある。ただし、「わからない」が3人ある。「個人情報保護指針」にもとづき、個人情報を取り扱うこと、個人が特定される文章や写真などを外部に出す必要があるときは、必ず事前に、保護者の同意を得ていること、個人情報に関わる資料やデータなどは、鍵のかかる書庫で保管していることが伝わっていない人もいると考えられる。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」「子どもに応じた活動が作り出されとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」「子どもは活動を楽しみに参加しているか」「活動に満足しているか」は、「はい」が22人（全員）ある。「地域センターに卓球をしに行ったり、公園に足を運んだり、おやつ作りをしたり、飽きず安心して過ごせる工夫がされている」「とても楽しみにしている」「心の支えになっている」「厚い中、散歩に行ってもらえ、助かっている」「本人も満足している」「いつも、『ゆうやけ！』と、楽しみな様子」「とても満足

している」という意見もあるように評価されている。

- ・「入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明がなされたか」「保護者の思いや願いを汲み取るため、懇切に対応されているか」「保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつけられているか」は、「はい」が22人（全員）ある。「親の気持ちを受け止め、助けてもらっている」「毎日、話してもらえるうえに、紙面でも読める。細かく話してもらえ、家庭では見られない様子を伝えてもらっている」という意見もあるように評価されている。
- ・「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、改善策をすみやかに伝えられているか」は、「はい」が19人ある。ただし、「わからない」が3人ある。苦情を出したことがないので、どのように対応しているかわからない、ということだと考えられる。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくろうとされているか」は、「はい」が22人（全員）ある。保護者との関係づくりが評価されている。

○職員による自己評価

- ・44項目中39の項目で、「はい」が11人（全員）または10人ある。全体として、高い自己評価となっている。
- ・「子どもの“問題行動”に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか」「子どもの表面的な事柄を並べるのではなくて、働きかけて、肯定的な事実をつくりだし、それを意味づけようとしているか」はそれぞれ、「はい」が8人ある。ただし、それぞれ、「わからない」が3人ある。子どもの表面に表われた事柄に左右されずに、内面を共感的に理解するように、また、自らの目を育てるように努めることは、難しい課題でもある。これらを反省的に振り返っていると考えられる。
- ・「大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自制的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか」は、「はい」が9人ある。ただし、「わからない」が2人ある。謙虚に学び、自分の目を育てることなしには、子どもは理解できないと気づくこと自体が大事だと考えられる。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」は、「はい」が7人ある。ただし、「わからない」が2人、「いいえ」が2人ある。外部の研修会は、休日に開かれることが多いため、非常勤職員の場合は、家庭の事情などで参加が難しいことの表われだと考えられる。

3. 改善目標

○保護者による評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。活動内容の充実や、保護者との関係づくりに、いっそう努力していきたい。
- ・活動場所の面積、施設内の状況、指導員の配置、防火・防災対策、個人情報取り扱いなどについては、現状がどうなっているかを、機会をとらえて、さらに伝えて

いきたい。

○職員による自己評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。内部の研修会などをつうじ、子ども1人ひとりの内面を理解する大切さを、いっそう学び合っていきたい。主体的に学んでいくために、事例を深めるための論議をすることを、引き続き重視したい。
- ・外部の研修会は、非常勤職員の中には、家庭などの事情で参加しにくい人もいるが、機会をとらえて、参加を引き続き呼びかけたい。

4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2020年2月より）

○ホームページへの掲載（2020年2月より）